

# 教育センター学びの丘研修員における学びについて

和歌山市立貴志小学校

教諭 名 古 真 之

和歌山県教育センター学びの丘における研修員としての研究と修養を通して、教育に関する専門的・技術的な事柄について理解を深められるように研鑽を重ねた。その1年間の学びについて述べる。

修養では、様々な教科や分野に関する研修を通して新たな視点を得たことにより、今日的な教育課題について多面的・多角的に捉えることができた。特に所属校におけるミドルリーダーとしての自身の役割を考えることにより、学校全体の課題について教職員の共通理解を図った上で、新しい取組を推進していくことの大切さについて学ぶことができた。

研究では、自身が行ってきた授業実践について見つめ直す良い契機となった。道徳科において、児童が主体的に考え、自己の考えを構築するためには、どのような手立てが必要となるのか、どのような単元構想を行うべきか考え、提案授業を行うことができた。作成した指導計画も、研究が進むにつれてより質の高いものに発展し、児童は主体性と道徳性を養うための一助になったと実感している。

今後は、1年間の研修員生活で触れることができた多くの人の考えや、広げることができた知見及び研究の各過程を通して身に付けた学びを生かし、学び続ける教員として研究と修養に努め、同僚と協働することで児童の成長に寄与したいと考えている。